

登録認定校になるためには



一般社団法人日本臨床栄養協会

2019年度版

学校登録認定制度



< 認定対象校 >

- (1)管理栄養士・栄養士養成校(学部・短大併設校は同時に申請可能)
- (2)薬科大学
- (3)医科大学
- (4)その他委員会が認めた学校

【学校登録認定審査基準】下記の科目がカリキュラムに入っていることが望ましい。

- 基礎の生理学または基礎の生化学
- 食品安全衛生学
- 食品機能の科学的根拠
- 人間栄養学または臨床栄養学

< 学校登録の申請 >

登録申請料は、1校につき50,000円(初回申請時のみ)。 ※2019年2月現在の税込価格表示です。

登録申請時にシラバスを提出する。

< 学生会員認定対象者 >

日本臨床栄養協会の学校会員(学校登録認定校)の在籍学生



学校登録認定校(学校会員)について

学校登録認定校(学校会員)に認定された学校の在籍学生は、何人でも学生会員として登録ができ、次のようなメリットを得られる。

- ① 将来様々な現場で働く在籍学生に対して、協会誌「**New Diet Therapy**」等を通じて最新の情報を入手でき、学内授業の応用として活用できる。
- ② 年4回発行の日本臨床栄養協会誌「**New Diet Therapy**」は、学校宛に2冊、学生に1冊ずつ送付される。
- ③ 学校会員の在籍学生(学生会員)は、入会金不要・年会費が正会員の半額 (4,000円)で学生会員となれる。
- ④ 学校会員の在籍学生(学生会員)は、通信教育が学生価格(5,000円)で受講できる。※正会員での申込みの場合は50,000円
※2019年2月現在の税込価格表示です。
- ⑤ 大連合大会(学術大会)や各種セミナーが、学生価格で参加できる。



学生会員のメリット



- ①在学中に資格の取得が出来る。
- ②就職活動で保有資格として活用できる。
- ③保健機能食品等、学校のカリキュラムでは多く取り扱われない分野が勉強できるので、就職選択での幅を広げるチャンスとなる。
- ④科目には基礎の生理学・生化学、食品安全衛生学、食品機能の科学的根拠、人間栄養学・臨床栄養学、行動科学とカウンセリング等が含まれているため、管理栄養士の国家試験対策としても役立つ。
- ⑤個人の正会員として受験をする場合トータル**74,000円**かかるところ、学校登録認定校の在籍学生ならば受験料を含めトータル**24,000円**で受験ができる、という優遇措置がある。
内訳：
◆学生会員年会費 **4,000円** (正会員の1/2の費用) ※入会金不要・正会員の半額、協会誌を年4回送付
◆通信教育受講料 **5,000円** (正会員の1/10の費用)
◆認定試験受験料 **15,000円** ※2019年2月現在の税込価格表示です。
- ⑥大連合大会の参加により社会で活躍されている方々と接する機会を得られる。
- ⑦資格取得後も継続会員になることにより、将来NR・サプリメントアドバイザー資格を生かしての職業選択並びに 社会人になった場合に求められる情報収集力とともに最新の情報を在学中に得ることが出来る。
- ⑧在学中は、資格認定から更新まで学校担当者による一括申込となり、学生の手続きがスムーズになる。



学校登録認定校の申請方法

学校登録認定校の申請方法

①学校登録申請書【様式①】に必要事項を記入の上、シラバスと共に事務局へ郵送



②学校登録認定校としての認定の旨、事務局より回答



③学校登録申請料の納入

↓ ●学校登録申請料 50,000円 + 学校会員年会費 25,000円

④学校登録認定校として登録(認定証送付)

※認定と同時に学校会員のお手続きが必要です。

【費用】 ※2019年2月現在の税込価格表示です。

	登録申請料	学校会員年会費
初年度	50,000円	25,000円
2年目以降	なし	25,000円

【送付先・問合せ先】

〒153-0044東京都目黒区大橋2-16-28^ハ インビルズ⁶⁰¹
日本臨床栄養協会 事務局 宛
TEL : 03-3467-0446 FAX : 03-3467-0447
E-mail : ojisaa2001@zpost.plala.or.jp

【お振込先：ゆうちょ銀行】

振替口座：00120-9-18766
口座名：日本臨床栄養協会
他金融機関からの振込口座番号
〇一九（ゼロイチキュウ）店（019）当座0018766



NR・サプリメントアドバイザー 認定資格取得のながれ

【学校会員】



一般社団法人日本臨床栄養協会

2019年度版

NR・サプリメントアドバイザーの役割と職域



「保健機能食品、サプリメントの国民への啓発」

消費者に対して保健機能食品、サプリメントについて、専門的観点から個々人の栄養状態を評価し、適切にアドバイスできること。

職域

1. 保健機能食品等が販売されている店舗や通販の機会等
2. 保健機能食品等の製造・販売会社のお客様相談室等
3. 保健所、保健センター、病院・診療所等の保健・医療機関
4. 消費者センター等の消費者相談機関
5. 地域における食生活改善活動の場

『NR・サプリメントアドバイザー』ロゴマーク



認定制度

NR・サプリメントアドバイザーの質の確保および向上を図るために認定試験制度と更新制度により認定を行う。更新は5年毎に実施する。





特色

- ①厚生労働省が作成したガイドライン(『保健機能食品等に係るアドバイザースタッフの要請に関する基本的な考え方』)に100%沿った教育内容としている。※1
- ②厚生労働省が発行した『「健康食品」に係る制度に関する質疑応答集について』で当協会の資格が紹介されている。※2
- ③講師陣が充実しており、その講師陣がテキスト・試験問題作成からフォローアップまで、一貫して担当することを徹底。
- ④すでに多くの大学が登録し、継続して活用している。

※1・・・ガイドライン 厚生労働省ホームページ参照

<http://www.mhlw.go.jp/topics/2002/03/tp0313-1.html>

※2・・・質疑応答集 厚生労働省ホームページ参照

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/hokenkinou/dl/20.pdf>



学校登録申請から受験までの流れ



手続きはすべて学校担当者にて一括で行っていただきます



勉強時間の確保のため、
3月頃までの手続きがおすすめ



公認テキスト「NR・サプリメントアドバイザー必修」



合格後の流れ



⑦会員の継続手続き

【学生】学生会員継続手続き

【学校】学校会員継続手続き



⑧卒業生は正会員への登録変更手続き





費用

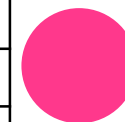
	(円)	学校会員	学生会員
学校登録申請料(初年度のみ)	50,000	-	-
入会金	なし	なし	なし
年会費(毎年度)	25,000	4,000	4,000
通信教育受講料(初回・再受講共に)	-	5,000	5,000
NR・サプリメントアドバイザー受験料			15,000

※2019年2月現在の税込価格表示です。

学生のための
優遇措置をぜひ
ご活用ください！

(参考) 正会員の場合

	(円)	正会員
入会金		1,000
年会費(毎年度)		8,000
通信教育受講料(初回/再受講)		50,000/20,000
NR・サプリメントアドバイザー受験料		15,000



教育内容



(1) 教育趣旨 「保健機能食品、サプリメントに係る指導・相談専門家の育成」

(2) 認定のための教育内容

1. NR・サプリメントアドバイザーの役割と倫理
2. 基礎の生理学
3. 基礎の生化学
4. 人間栄養学
5. 生活習慣病概論
6. 臨床栄養と臨床検査
7. 身体活動と栄養
8. 食品安全衛生学
9. 健康食品
10. 臨床薬理学
11. 食品機能の科学的根拠
12. 行動科学とカウンセリング
13. 国内外の関連法規ー食品の健康表示と安全性ー



通信教育『NR・サプリメントアドバイザー講座』



【教育方法】

上記教育内容を現に勤務している人や広く全国の人達が、等しく教育の機会を持てるよう、認定試験のための公認テキスト「NR・サプリメントアドバイザー必携」の出版およびインターネットを活用したオンデマンド方式による通信教育方法を採用。

●教育メディア: インターネット

パスワード取得により常時受講可能なオンデマンド方式。

スマートフォンからも閲覧可能。

●1コマ約30分



放送内容(2019年予定) 4月から11月までの8ヶ月 合計37コマ

※閲覧は翌年2月末日まで可能。



放送回数	ネット配信日	テーマ	出演者
第1回	4月8日	開講にあたって	小沼富男理事長
第2回	4月15日	NR・サプリメントアドバイザーの役割と倫理	田中弘之(東京家政学院大学)
第3回	4月22日	基礎の生理学①	合田敏尚(静岡県立大学)
第4回	4月29日	基礎の生理学②	合田敏尚(静岡県立大学)
第5回	5月6日	基礎の生化学①	青江誠一郎(大妻女子大学)
第6回	5月13日	基礎の生化学②	青江誠一郎(大妻女子大学)
第7回	5月20日	人間栄養学①	合田敏尚(静岡県立大学)
第8回	5月27日	人間栄養学②	合田敏尚(静岡県立大学)
第9回	6月3日	生活習慣病概論①	脇昌子(静岡市立静岡病院)
第10回	6月10日	生活習慣病概論②	脇昌子(静岡市立静岡病院)
第11回	6月17日	臨床栄養	脇昌子(静岡市立静岡病院)
第12回	6月24日	臨床検査と身体活動と栄養①	久保明(常葉大学)
第13回	7月1日	臨床検査と身体活動と栄養②	久保明(常葉大学)
第14回	7月8日	食品安全衛生学①	志村二三夫(十文字学園女子大学)
第15回	7月15日	食品安全衛生学②	志村二三夫(十文字学園女子大学)
第16回	7月22日	健康食品①	梅垣敬三(昭和女子大学)
第17回	7月29日	健康食品②	梅垣敬三(昭和女子大学)
第18回	8月5日	臨床薬理学①	篠塚和正(武庫川女子大学)
第19回	8月12日	臨床薬理学②	篠塚和正(武庫川女子大学)
第20回	8月19日	食品機能の科学的根拠①	石見佳子(医薬基盤・健康・栄養研究所)
第21回	8月26日	食品機能の科学的根拠②	石見佳子(医薬基盤・健康・栄養研究所)
第22回	9月2日	行動科学とカウンセリング①	石原俊一(文教大学)
第23回	9月9日	行動科学とカウンセリング②	石原俊一(文教大学)
第24回	9月16日	国内外の関連法規 - 食品の健康表示と安全性-①	田中弘之(東京家政学院大学)
第25回	9月23日	国内外の関連法規 - 食品の健康表示と安全性-②	田中弘之(東京家政学院大学)
第26回	9月30日	認定試験対策講座① 基礎の生理学	合田敏尚(静岡県立大学)
第27回	9月30日	認定試験対策講座② 基礎の生化学	青江誠一郎(大妻女子大学)
第28回	10月7日	認定試験対策講座③ 人間栄養学	合田敏尚(静岡県立大学)
第29回	10月7日	認定試験対策講座④ 生活習慣病概論と臨床栄養	脇昌子(静岡市立静岡病院)
第30回	10月14日	認定試験対策講座⑤ 臨床検査と身体活動と栄養	久保明(常葉大学)
第31回	10月14日	認定試験対策講座⑥ 食品安全衛生学	志村二三夫(十文字学園女子大学)
第32回	10月21日	認定試験対策講座⑦ 健康食品	梅垣敬三(昭和女子大学)
第33回	10月21日	認定試験対策講座⑧ 臨床薬理学	篠塚和正(武庫川女子大学)
第34回	10月28日	認定試験対策講座⑨ 食品機能の科学的根拠	石見佳子(医薬基盤・健康・栄養研究所)
第35回	10月28日	認定試験対策講座⑩ 行動科学とカウンセリング	石原俊一(文教大学)
第36回	11月4日	認定試験対策講座⑪ NR・サプリメントアドバイザーの役割と倫理/国内外の関連法規	田中弘之(東京家政学院大学)
第37回	11月4日	閉講にあたって	戸田洋子副理事長



認定試験のための公認テキスト



NR・サプリメントアドバイザー必携 第4版

著者 : 一般社団法人日本臨床栄養協会/編集

出版社名: 第一出版

発行年月: 2019年3月

定価 : 本体4,500円+税*会員価格あり

NR・サプリメントアドバイザー認定試験のための公認テキスト。各科目ごとに、その分野の第一人者による解説が加えられ、巻末には認定試験を想定した練習問題を収録。



認定試験

●受験資格

- ①日本臨床栄養協会会員であること。
- ②研修単位は、40単位取得していること。

※通信教育の受講により40単位が認定されます。

※取得した研修単位は、会員継続により合格するまで有効。

●受験願書受付締切り:9月30日(日)[必着]

●受験科目

- 1.NR・サプリメントアドバイザーの役割と倫理
2. 基礎の生理学
3. 基礎の生化学
4. 人間栄養学
5. 生活習慣病概論
6. 臨床栄養と臨床検査
7. 身体活動と栄養
8. 食品安全衛生学
9. 健康食品
10. 臨床薬理学
11. 食品機能の科学的根拠
12. 行動科学とカウンセリング
13. 国内外の関連法規ー食品の健康表示と安全性ー



認定試験



●試験方法と出題数: 択一式(解答用紙記入)の学科試験、90題

●受験日時: 12月1日(日)13:00~15:00(12:45着席)

●受験会場: 下記全国数か所(2018年実績)※会場は変更する場合があります

東京会場、大阪会場、福岡会場、新潟会場、岐阜会場、名古屋会場、岡山会場

●認定試験受験の申込方法

※お手続きはすべて学校担当者を窓口に行っていただきます。

※書類はすべて学校担当者にまとめてお送りいたします。

①協会より受験要項[願書]が送付される(7月頃)

↓

②受験者に配布し、各自書類を揃える

↓

③受験者人数分の受験料と願書をまとめて事務局へ提出する※詳細は、受験要項に従う

↓

④人数分の受験票を受け取り、受験者に配布する

↓

各自試験会場にて受験



認定資格者の内訳



◆2018年12月2日実施第6回認定試験 資格別合格率			
資 格	受験者数	合格者数	合格率
医師			
歯科医師			
獣医師			
管理栄養士	29	21	72.4%
栄養士	8	2	25.0%
薬剤師	59	49	83.1%
看護師・助産師・保健師	2	2	100.0%
臨床検査技師	2	1	50.0%
その他の指定資格保持者	100	65	65.0%
指定資格のない方	168	64	38.1%
学校認定校	260	132	50.8%
合 計	628	336	53.5%



認定資格者の内訳

『国立健康・栄養研究所栄養情報担当者(NR)』合格者内訳

第1回(2004年)～第9回

資格	合格者数	比率
医師	54	0.9%
歯科医師	11	0.2%
獣医師	7	0.1%
管理栄養士	1145	20.2%
栄養士	411	7.2%
薬剤師	2224	39.2%
看護師・助産師・保健師	36	0.6%
臨床検査技師	41	0.7%
第2～6号該当※1	1117	19.7%
第7号該当※2	629	11.1%
合計	5,675	100.0%

※1 第6回認定試験までは第1～5号該当者。学校教育法に基づく大学若しくは高等専門学校等において、栄養学、薬学、保健学、医学、獣医学、水産学又は農芸化学の課程を修めて卒業した者、第7回認定試験からは薬学共用試験に合格した者を含む。

※2 資格確認試験に合格した者

『日本臨床栄養協会サプリメントアドバイザー』認定者内訳

第1回(2002年)～第11回

資格	認定者数	比率
医師	149	2.8%
歯科医師	27	0.5%
獣医師	10	0.2%
管理栄養士	711	13.5%
栄養士	183	3.5%
薬剤師	952	18.1%
看護師・助産師・保健師	118	2.2%
臨床検査技師	46	0.9%
その他の指定資格保持者	61	1.2%
指定資格のない方	1093	20.7%
学校認定校学生	1771	33.6%
特別措置制度認定者	152	2.9%
合計	5,273	100.0%

『NR・サプリメントアドバイザー』認定者内訳

第1回(2013)～第6回(2018)実施までの累計

資格	認定者数	比率
医師	19	0.8%
歯科医師	3	0.1%
獣医師	0	0.0%
管理栄養士	201	8.6%
栄養士	32	1.4%
薬剤師	271	11.6%
看護師・助産師・保健師	23	1.0%
臨床検査技師	8	0.3%
その他の指定資格保持者	253	10.8%
指定資格のない方	533	22.8%
学校認定校	992	42.5%
合計	2,335	100.0%